

愛知医科大学加齢医科学研究所で病理解剖あるいは病理診断を受けた患者さんのご家族へ

本学では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	ALS 患者の剖検サンプルを利用したエダラボンの pTDP-43 陽性凝集体への作用を検討する後方視的研究
研究機関の長（試料・情報の管理責任者）	愛知医科大学医学部 医学部長 笠井謙次
研究責任者	加齢医科学研究所 教授 岩崎靖
研究の対象となる方	1974 年 1 月から 2025 年 8 月までに愛知医科大加齢医科学研究所ブレインリソースセンター (AKBRC) に登録された患者さんで、病理学的に筋萎縮性側索硬化症と診断された方
研究期間	研究実施承認日 ~ 2026 年 3 月 31 日
研究目的及び利用方法	<p>〔研究目的〕</p> <p>ALS（筋萎縮性側索硬化症）は、運動神経に障害が起こることで手足に力が入らない、喋りにくいといった症状が出現する原因不明の神経疾患です。近年研究が進み、原因の一つに pTDP-43 という蛋白の関与が分かりました。また、ALS の症状進行抑制にエダラボンが用いられるようになりました。本研究では、ALSにおいてエダラボンが pTDP-43 の凝集にどのように作用するかを明らかにすることを目的としています。</p> <p>〔利用方法〕</p> <p>患者さんの病理組織試料を用いて、pTDP-43 陽性凝集体の有無を評価します。研究計画書及び方法に関する資料は愛知医科大学加齢医科学研究所のホームページから閲覧できます。</p> <p>〔外部への試料・情報の提供〕</p> <p>試料・情報は個人が特定できないようにし、記録媒体または電子メールにより共同研究機関へ提供します。</p> <p>〔外部への提供開始日〕</p> <p>研究実施承認後</p>
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	試料：病理解剖時に採取した組織を使用 情報：診療録や臨床病理カンファレンスから取得した臨床情報から、エダラボン投与歴、性別、ALS 発症時年齢等を収集
提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	Mitsubishi Tanabe Pharma America, NeuroDiscovery Lab 田村誠

試料・情報を利用する学外の者	Mitsubishi Tanabe Pharma America, NeuroDiscovery Lab 田村誠, 御厨颯季
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2026年2月28日までにメール送信や電話により下記問い合わせ先まで申し出てください。
外国への試料・情報の提供	<p>[外国の名称] The United States of America</p> <p>[個人情報の保護に関する制度の情報] 電子通信プライバシー法(Electronic Communications Privacy Act of 1986)に従う</p> <p>[個人情報保護のための措置に関する情報] 試料・情報は個人が特定できないようにし、記録媒体または電子メールにより共同研究機関へ提供します。</p>
問い合わせ先	<p>愛知医科大学 加齢医科学研究所 担当者：教授 岩崎靖 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 12091) E-mail: kareiken@aichi-med-u.ac.jp</p>